

## スズキ、二輪車レースの最高峰 ロードレース世界選手権(MotoGP)に 2015年より参戦を発表



スズキ株式会社は、9月30日から10月5日※1までドイツ・ケルンで開催されている二輪車の国際見本市「インターモト」のプレスカンファレンスにおいて、二輪車レースの最高峰「FIM※2ロードレース世界選手権(MotoGP)」のMotoGPクラスに2015年より参戦することを発表した。

※1 プレスデー:9月30日、一般公開日:10月1~5日

※2 FIM(国際モーターサイクリズム連盟)

スズキは、このたびMotoGP参戦車両の開発とチーム体制が整い、2015年シーズンからのMotoGP参戦を決定し、新開発の参戦車両「GSX-RR」と参戦ライダー、チーム体制を発表した。また、参戦に先立ち、今シーズン最終戦バレンシアGPにワイルドカードで出場する。

スズキは、2012年よりMotoGPへの参戦を一時休止していたが、同レース復帰に向けて車両開発を継続してきた。MotoGP参戦を通じ商品へのフィードバックを行うことで、より魅力的な商品の開発を進めるとともに、ブランドイメージの向上を図る。

●参戦車両「GSX-RR(ジー・エス・エックス・ダブルアール)」

「GSX-RR」は、MotoGPクラスでの高いパフォーマンスと、「GSX-R」をはじめとした市販車両への技術フィードバックを目的に2012年より開発を進めてきた。

扱いやすく力強いエンジン特性、燃費性能、耐久性を高い次元で実現する新開発の並列4気筒エンジンを搭載した。

車体は運動性能と空力性能の両面より、車幅を抑えたレイアウトとし、車体剛性、重量バランスの最適化を図った。市販車両「GSX-R」で長年培ってきた素直な操縦性が発揮できる、戦闘力の高いMotoGPマシンを目指した。



MotoGP 参戦車両「GSX-RR」

「GSX-RR」基本仕様

全長×全幅×全高	2,096mm × 720mm × 1,140mm
ホイールベース	1,457mm
車両重量	160kg (FIMレギュレーションに基づく)
エンジン形式	水冷4サイクル並列4気筒DOHC4バルブ
排気量	1,000cm <sup>3</sup>
最高出力	169kw(230PS)以上
フレーム形式	アルミツインスパー
タイヤ(フロント/リヤ)	16.5インチ/16.5インチ
フロントサスペンション	オーリンズ製 倒立フォーク
リヤサスペンション	オーリンズ製
ブレーキ(フロント/リヤ)	カーボンディスク/スチールディスク ブレンボ製

●チーム体制

チーム名: チーム・スズキ・モトGP

参戦ライダー: アレイシ・エスパルガロ選手(スペイン):MotoGP参戦中  
マーベリック・ビニャーレス選手(スペイン):Moto2参戦中

チームマネージャー: ダビデ・ブリビオ(イタリア):現テストチームのチームマネージャー